

新潟県立長岡大手 高等学校 同窓会

長岡高等女学校・研究科・
長岡女子高等学校
併設中学校・高等学校定時制・
第二長岡高等学校



同窓会会報

～会報でつなぐ同窓の絆～

第11号

令和5年7月1日

同窓会会員数 39,488人
在籍生徒数 800人



同窓会バナーより同窓会
ページにお進みください。
(大手高校HPに貼ります)

題字：田中 愛子
(女40回)



長岡高等女学校、研究科、長岡女子高等学校、併設中学校、高等学校定時制、第二長岡高等学校、長岡大手高等学校

2023年（令和5年）総会ご案内

日時 令和5年10月7日(土) 午後6時～（受付 午後5時30分～）

- ・総会
- ・記念演奏会「長岡大手高等学校音楽部」
- ・懇親会（午後9時終了予定）

会場 長岡グランドホテル

新潟県長岡市東坂之上町1丁目2-1 TEL：0258-33-2100

会費：7,000円

※同封のハガキまたは事務局へ直接お申込み下さい。
お申込み法は、ハガキ表面をご覧ください。
電子メールで御返信の方は、氏名・卒回・出欠の有無
を記入して御返信下さい。
右記のQRコードより、簡単にアクセスできます。
E-mail：ohtedousoukai@eagle.ocn.ne.jp

多数の皆様のご参加をお待ちしています。



今年の
行事委員の中心は
全47回生（平成7年卒業）
です。
声を掛け合って
盛り上げましょう！

〔事務局受付時間〕 月・水・金曜日 10:00～13:00 不在の際は留守番電話をご利用ください。



ご挨拶 百二十周年事業御礼と未来へ

長岡大手高等学校同窓会長 島 津 太 志
(全一九回)

会員の皆様、創立百二十周年記念事業実行に際しご理解とご協力をいただき、誠に有難うございました。多大なご寄付をいただき、式典が盛大に開催されたことはもとより、母校の教育環境の整備に充てることができました。すでに硬式野球部は寄贈されたマシンの効果か、春季県大会において打撃力の向上が顕著であり、又音楽部においては楽器の補充に役立て、三月に行われた定期演奏会が充実したものでなりました。本当にありがとうございます。

記念講演会では「西茂弘」氏から、参加者や在校生に「未来をどう生きるか!!」をテーマに日本や世界の身近な問題を例に挙げ、個々が間違った情報や常識にとらわれずに自分の意見や考え方を主張し実行できる社会人になることが重要なことと講演していただきました。聴衆の方々からもとても感動して頂きました。コロナ禍やウクライナ問題などまだまだ情勢は好転していません。こはしっかり「済美」の精神を持って生きていきたいものです。

当会も次の百三十周年に向けて新たなスタートに立ち、諸物価高騰のある中少ない予算で会報発行を中心に活動が始まっています。大勢の方々の賛同を得て、今後に繋げていくためにも「協力金」が欠かせません。今回もご協力をよろしくお願いいたします。

十月七日にまた多くの皆様と総会でお会いできることを願っております。



自主自律の精神と済美の精神を涵養する

長岡大手高等学校長 佐藤 一彦

令和四年四月一日付で着任し、二年目となりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。昨年度開催された創立百二十周年記念式典を始め関連事業に同窓会の皆様から多大なご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

令和五年三月卒業生の国公立大学合格者数は百二人で、主な進路先は、筑波大学、金沢大学、新潟大学、東京都立大学、中央大学、東京家政大学、防衛大学などでした。また、大学等進学率は八二・〇％、大学等進学達成率は九七・四％でした。生徒は通常の学習だけでなく、探究学習やボランティア活動、部活動等に意欲的に取り組んでいます。

令和五年四月、全ての高校にスクールミッション（存在意義・社会的役割）が定められました。本校のスクール・ミッションは左記の通りです。

「自主自律の精神と済美（人として誇り高く、美しく生きる）の精神を涵養する学校」
・豊かな人間性と知性・教養を兼ね備え、他者と協働しながら積極的に課題を克服していく
・気概のある生徒を育成し、活力ある地域社会の実現に貢献する。
・自主自律の精神と校訓「済美」の精神を涵養し、時代の変化に柔軟に対応できる聡明で創造力のある人材を育成する。

生徒玄関を入ると、元同窓会長の田中玉蘭先生が書かれた、「夢」と「済美」の大きな額が目に入ります。登校してくる生徒たちが、済美の精神でそれぞれの夢に近づき、描いた夢が将来、現実のものとなるよう指導して参ります。今後とも、引き続きご支援賜りたくお願い申し上げます。



新任のご挨拶

長岡大手高等学校副校長 藤田 純子

令和五年四月一日付で副校長として着任いたしました藤田純子と申します。前任校は、新潟商業高等学校です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年度、創立百二十周年式典を迎え、同窓会から屋外ステージの整備やトレーニングルームの充実、音楽部の楽器の整備、生徒玄関への防犯カメラ設置など、数々の寄贈品を賜り、教育環境をさらに充実させることができました。特に、屋外ステージでは、勧誘のため音楽部や書道部が発表を行ったり、クラスの集合写真を撮影したりするなど、早くも有効活用されており、学校のシンボルとなっております。

令和五年三月の全県の国公立大学の現役合格者数が三千人を超え、近年では過去最高となる中、本校でも令和三年度の百三人に迫る百一人という合格者数を出しました。一方、部活動でも、今年度すでに陸上部、女子ハンドボール部、体操や空手道競技などがインターハイ出場を決め、放送部、文学部も全国総文祭に出場を予定するなど、まさに、文武双方で生徒たちのめざましい活躍が光っています。

本校がますます発展し、地域から愛される学校となるよう、非力ながら精一杯努めさせていただきます。どうぞ本校に引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



大手愛

長岡大手高等学校教頭 内川 未奈希

令和五年四月に教頭として赴任いたしました。同窓会の皆様には、日頃から物心両面から暖かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。また、会報「夢」を拝読し、卒業した皆様の母校に対する誇りと愛情、そして後輩たちへの期待を強く感じております。

赴任後は、本校の百二十年の歴史や伝統、「済美の精神」と、生徒と職員との「大手愛」を感じながら日々過ごしております。校舎内外に整備され飾られた季節ごとの花々、礼法室から聞こえる琴の音色、生徒たちが中庭ステージで演奏する姿、青空に響き渡る大手体操の掛け声など、教育界の変革のスピードは速くとも、受け継がれる「大手愛」は変わらず、同窓生が増えるとともにさらに大きくなってまいります。

引き続き、教職員一同長岡大手高校を発展させてまいりますので、本校教育活動への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

遙か

女子ハンドボール部 顧問 丸山 祐一



県総体決勝戦の様子

インターハイは遙か遠い場所だった。ハンドボール部の顧問になってからの最初の2年間は県総体の一回戦を勝ち進むことさえできなかった。県内わずか5校の代表になるために必要なのは3勝だけ。しかしその3勝が果てしなく遠く感じた。

からだった。インターハイ出場という先輩の代からの目標を果たすべく、厳しい練習を重ねた結果、県内では負けなしのチームになった。春の大会でも優勝を収め、インターハイ出場がぐっと近づくのを感じた。

だが実際は、そこからさらに長かった。県総体が近づくにつれ優勝校としてのプレッシャーが重くのしかかり、練習中の笑顔が消えた。不安から涙してしまう選手もいた。他のチームからも徹底的に対策を練られ、得意のプレーをさせてもらえなかった。県総体の決勝戦、「あと1点が欲しい。」「あと1点取られたらまずい。」という状況が試合中、途切れることなく続いた。2倍にも、3倍にも感じる長い60分だった。



優勝後のチーム写真

遙か彼方のインターハイ。その道のりは決して易しいものではなかった。それでも諦めることなく、進み続け、栄冠を勝ち取った選手たち。本当に誇りに思う。夢の舞台は北海道。新潟県の代表として新たな目標を胸に、北の大地へ、いざ行かん。

事務局より

この所、新聞スポーツ欄には部活動の各種大会結果が毎日記載されています。上位に「長岡大手」の文字を見つけるたびに同窓生の一人として、その活躍を嬉しく誇らしく思います。昨年、創立120周年記念事業の一環として集まった寄付金は、母校の環境整備にも充てられ、様々な物品を寄付することができました。野

球部は早速ピッチングマシーンでの練習効果が現れ、好結果を得ているそうです。母校への応援や支援が生徒を成長させ、また母校を発展させる大切な役割になるように思います。お忙しい中、ご投稿ご執筆いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

◎住所等の変更は、電子メール、郵便、電話で受け付けます。留守番電話でのお申し出は、ご遠慮ください。

令和4年度(2022年度)同窓会会計報告

単位：円

	収入総額	支出総額	次年度繰越金
経常会計	1,885,833	1,411,722	474,111
事業基金会計	2,600,852	1,131,966	1,468,886
特別事業基金会計	2,912,222	0	2,912,222
周年事業積立金会計	500,013	0	500,013

詳しい内容は長岡大手高校HP《同窓会》に掲載しております。

会報発送協力金(令和5年4月18日現在)

入金件数	1,096件
金額	2,202,000円
発送経費	3,089,680円

会報発送にあたっては、発送協力金の納付が不可欠です。何卒ご理解の上、協力金を納付くださるようお願いいたします。

輝け！青春！！長岡大手の部活動

※部員数は令和5年6月現在

ク ラ ブ	部員数		令和4年度の実績・活動内容など	活動場所
	男子	女子	令和5年度の活動予定、内容など	
テ ニ ス (男子)	10	0	春期、秋季地区大会出場 5月春季地区大会 6月県総体 7月国体県予選 8月全国選抜県一次予選 9月秋季地区大会 県選手権 全国選抜県大会	テニスコート
テ ニ ス (女子)	0	23	春季地区大会シングルスベスト8、ダブルス3位 秋季地区大会シングルス3位、ダブルス3位 全国選抜県一次予選3位 全国選抜県大会3位 5月春季地区大会 6月県総体 7月国体県予選 8月全国選抜県一次予選 9月秋季地区大会 県選手権 全国選抜県大会	テニスコート
ソフトテニス	0	9	高校選抜県大会二次予選進出（ベスト8） 5月春季地区大会 6月県総体 9月秋季地区大会 10月県新人選抜大会 11月高校選抜県大会一次予選	テニスコート
ソフトボール	0	21	4月春季大会 6月県総体 9月秋季大会 10月県新人大会、各大会出場 4月春季大会 6月県総体 9月秋季大会 10月県新人大会	第一グラウンド
卓 球	9	10	秋季地区大会シングルス女子優勝 県選抜学校対抗女、シングルス女子3出場 5月春季地区大会 6月県総体 10月秋季地区大会 11月県選抜大会	第2体育館ギャラリー
バレーボール	0	9	県総体ベスト16 4月秋季地区大会、6月県総体、10月全日本選手権大会、11月秋季地区大会 1月1・2年生大会	第1体育館
バスケットボール (男子)	32	7	4月春季地区大会 5月県総体 11月ウィンターカップ予選、秋季地区大会 1月BSN杯 リーグ戦	第1体育館
バスケットボール (女子)	0	14	春季地区大会優勝 県総体ベスト8 ウィンターカップ予選ベスト8 4月春季地区大会 6月県総体 9月北陸選手権 U18リーグ戦 11月ウィンターカップ予選、秋季地区大会 1月BSN杯	第1体育館
ダ ン ス	3	70	6月県総体、8月長岡まつりふれあい広場、9月済美祭、11月県ダンス発表会でのダンス発表 6月県総体、11月県ダンス発表会 他、各種イベントや学校行事でダンス発表	第1体育館ステージ
陸 上	26	19	【全国高校総体インターハイ】 男子400m・男子400mH・男子4×100mR 出場 【U18日本陸上競技選手権大会】 男子300mH 出場 【北信越高校総体】 男子400m第3位・男子400mH第3位・男子4×100mR第6位・男子走高跳第9位・ 女子走幅跳第8位・女子棒高跳第9位 【北信越新人】 男子1500m第2位・男子三段跳第4位・男子110mH第6位 【県高校総体】 男子のべ12種目入賞、女子のべ5種目入賞 【新潟県高等学校秋季大会】 男子のべ2種目入賞、女子のべ8種目入賞 【県高校駅伝】 女子第8位 高校総体（県総体・北信越総体・インターハイ）と新人戦（県選抜・北信越新人）、ほか各種大会参加予定	市営陸上競技場
水 泳	16	13	【全国高校総体（インターハイ）】 男子100m背泳ぎ・男子200m背泳ぎ（上村 祐太郎）、男子100mバタフライ（峠 蓮人）、 男子4×100mフリースタイル、男子4×200mフリースタイル、男子4×100mメドレーリレー、 女子100m自由形（坂爪 晴）、女子200m自由形（本間 彩桜）、女子4×100mフリースタイル、女子4×100mメドレーリレー 出場 【全国JOCジュニアオリンピックカップ春季大会】 CS男子50m背泳ぎ 第6位 上村 祐太郎 CS男子50mバタフライ 第8位 峠 蓮人 【国民体育大会】 少年男子B4×100mフリースタイル 第8位 新潟県（第4泳者 本間 匠騎） 少年女子A100m自由形（坂爪 晴） 少年女子A4×100mフリースタイル（第2泳者 坂爪 晴・第3泳者 多田 茉凜） 少年女子B4×100mフリースタイル（第1泳者 小俣 みなも） 少年女子B4×100mメドレーリレー（第4泳者 小俣 みなも） 少年女子 高飛込・少年女子3m飛板飛込（平澤 杏里彩） 新潟県代表 【北信越大会】 男子総合 2位／女子総合 4位 【県 総 体】 男子総合 2位／女子総合 2位（※女子4×200mフリースタイルは大会新記録にて優勝） 【地 区 大 会】 男子総合 1位／女子総合 2位 5月 春季地区／6月 県総体／7月 北信越総体／8月 全国高校総体（インターハイ）／9月 国民体育大会、秋季地区、ほか全国JOCジュニアオリンピック（夏季・春季）大会など各種大会参加予定	DP フェニックスプール
登 山	14	8	県総体団体男子・女子出場 4月新人歓迎登山、5月地区大会、6月県総体、8月夏山合宿、9月地区大会、10月秋山登山、1月基本技術講習会	2棟東側階段 周回コース 等
野 球	21	6	第147回北信越地高校野球新潟県大会ベスト16 前年度の成績を超え、初の甲子園を目指す。	第二グラウンド
バドミントン	27	27	県総体出場 5月春季地区大会、6月県総体、7月国体県予選、8月県1・2年生大会、11月秋季地区大会	第2体育館
サ ッ カ ー	34	6	春季中越地区大会ベスト8・秋季中越地区大会ベスト8・県総体ベスト32 春季中越地区大会・県総体・高校サッカー選手権・秋季中越地区大会・高円宮杯U-18県リーグ	第一グラウンド
剣 道	1	1	春季地区大会男子団体ベスト8（混成チームで出場）、秋季地区大会男子個人ベスト16 5月春季地区大会、6月県総体、11月秋季地区大会、1月BSN大会	格技場
ハンドボール (男子)	35	12	春季県大会第3位、県総体第3位、北信越大会出場、秋季県大会第3位 4月春季県大会、6月県総体、6月北信越大会、8月インターハイ、11月秋季県大会、2月北信越大会	第一グラウンド
ハンドボール (女子)	0	31	春季県大会第4位、県総体第3位、北信越大会出場、秋季県大会準優勝、北信越新人大会出場 春季県大会、県総体、北信越大会、インターハイ、秋季県大会、北信越新人大会	第一グラウンド
文 学	0	4	令和4年度新潟県高等学校文芸コンクール小説部門奨励賞1名、優秀賞1名でした。令和5年度鹿兒島総文芸文芸部門に出場します。毎週金曜日放課後にそれぞれ創作活動をしています。	図書館
生 物	2	4	季節や興味に応じて生物の採集や観察、飼育、研究を行います。また、長岡市の環境保全に取り組み市民団体と東山の整備作業や寺泊で海洋プラスチックゴミ問題の調査に取り組んでいます。	生物教室
地 学	0	3	済美祭での自作プラネタリアムの上映を行うため、宇宙に関する学習を中心に行っています。また、天体以外でも地層の観察も充実させていく予定です。	部室・地学教室
英 語	4	8	A L Tの先生と会話したり、ゲームをしたりして英語を楽しく学んでいます。過去には海外の生徒とZoomなどで交流をしました。今年度も新たな交流を計画中です。また、新潟県のスピーチコンテストもあります。	133 教室
音 楽	4	48	新潟県吹奏楽コンクール高等学校Aの部 銀賞 / NHK 全国学校音楽コンクール第3位 新潟県アンサンブルコンテスト 金管八重奏 金賞 木管五重奏 銀賞 中越ジョイントコンサート・第6回定期演奏会出演 等	音楽教室
書 道	0	20	各種公募展、コンクールに向けての作品制作と書道パフォーマンス等の活動を行っています。 令和4年度第72回新潟県読書大会「特別賞 朝日新聞新潟総局長賞」1名。特選2名、準特選2名、金賞3名。「新潟県高等学校総合文化祭第36回美術・工芸、書道展」作品選抜6名。「第16回全国高校生刻字展」作品本校全国2位「団体準優秀賞」受賞。優秀賞3名、秀作賞5名、入選4名。	書道教室
美 術	0	11	県や市の展覧会への出品、済美祭の作品展示などの活動をしています。行事のパフレットの表紙絵やポスターづくりに協力しています。	美術室
写 真	1	19	R4年度県写真専門部展 奨励賞2点、入選10点。今年度も同専門部の撮影大会、専門部展（コンテスト）に参加予定。普段は主に木曜日の放課後に活動しています。土日や長期休業中は校外に撮影に行きます。	新聞機間誌室
演 劇	1	7	新潟県高等学校創作演劇発表会 生徒審査員最優秀賞 役者・演出・照明・音響・舞台美術・脚本等様々な分野の総合芸術です。文化祭・市内発表会の公演有り。	部室・特別教室
生 花	0	3	池坊の講師の先生から、月2回程度指導していただいています。済美祭や高文祭の生花展に出展したり、高文祭での部門紹介をしたりしています。また、入学式や卒業式に、講師の先生とともに玄関等に花を生けています。	礼法室
琴	0	19	生田流の講師の先生から指導していただいています。新潟県高等学校総合文化祭での演奏のほか、済美祭などで演奏発表を行っています。令和4年新潟県高等学校総合文化祭日本音楽部門 奨励賞	礼法室
茶 道	0	12	済美祭のお茶会を主たる目標に礼法室にて茶道宗偏流のお稽古に励んでいます。各自が宗偏流の作法を身につけお茶会を運営できるよう、校内ミニお茶会なども行っています。	礼法室
漫 画 研 究	1	9	毎週火曜に活動しています。済美祭では活動を紹介する予定です。図書館広報のカットやイラスト制作も行います。	家庭クラブ室
放 送	3	8	日々の校内放送機材の準備、および各種コンテストへの参加 春 第69回NHK杯全国放送コンテスト新潟県大会 ラジオドキュメント部門3位 テレビドキュメント部門4位 すべて全国大会進出 秋 第35回新潟県高校放送コンクール兼第42回QK杯（NHK新潟放送局）校内放送コンクール ラジオ番組部門3位テレビ番組部門4位	放送室
軽 音 楽	10	26	済美祭でのステージ発表、校外でのイベント参加（不定期）。	済美会館
家庭クラブ	0	119	家庭クラブ研究、各種コンテストへの応募、学校家庭クラブ連盟主催研修会参加	家庭総合実習室

過去5年間の進路状況

(令和5年4月19日現在)

	科	卒業者	4年制大学			短期大学			専修学校	就 職	その他 (受験準備等)
			国公立	私 立	計	公 立	私 立	計			
令和5年 3月卒	普通科 (6クラス)	232	91	115	206	0	0	0	18	3	5
		(%)	39.2	49.6	88.8	0.0	0.0	0.0	7.8	1.3	2.2
	家政科	40	0	13	13	0	4	4	22	0	1
		(%)	0.0	32.5	32.5	0.0	10.0	10.0	55.0	0.0	2.5
令和4年 3月卒	普通科 (6クラス)	272	91	128	219	0	4	4	40	3	6
		(%)	33.5	47.1	80.5	0.0	1.5	1.5	14.7	1.1	2.2
	家政科	233	83	116	199	0	4	4	21	1	8
		(%)	35.6	49.8	85.4	0.0	1.7	1.7	9.0	0.4	3.4
令和3年 3月卒	普通科 (6クラス)	40	0	9	9	0	12	12	16	1	2
		(%)	0.0	22.5	22.5	0.0	30.0	30.0	40.0	2.5	5.0
	家政科	273	83	125	208	0	16	16	37	2	10
		(%)	30.4	45.8	76.2	0.0	5.9	5.9	13.6	0.7	3.7
令和2年 3月卒	普通科 (6クラス)	271	92	103	195	2	8	10	45	5	16
		(%)	33.9	38.0	72.0	0.7	3.0	3.7	16.6	1.8	5.9
	家政科	236	52	122	174	1	4	5	39	6	12
		(%)	22.0	51.7	73.7	0.4	1.7	2.1	16.5	2.5	5.1
平成31年 3月卒	普通科 (6クラス)	40	0	6	6	0	11	11	21	0	2
		(%)	0.0	15.0	15.0	0.0	27.5	27.5	52.5	0.0	5.0
	家政科	276	52	128	180	1	15	16	60	6	14
		(%)	18.8	46.4	65.2	0.4	5.4	5.8	21.7	2.2	5.1
令和5年 3月卒	普通科 (6クラス)	235	70	101	171	0	3	3	26	3	32
		(%)	29.8	43.0	72.8	0.0	1.3	1.3	11.1	1.3	13.6
	家政科	39	0	9	9	0	4	4	23	3	0
		(%)	0.0	23.1	23.1	0.0	10.3	10.3	59.0	7.7	0.0
令和5年 3月卒	普通科 (6クラス)	274	70	110	180	0	7	7	49	6	32
		(%)	25.5	40.1	65.7	0.0	2.6	2.6	17.9	2.2	11.7

過去3年間の大学・短期大学・大学校の合格状況

(令和5年4月1日現在)

学 校 名	R33卒業	R43卒業	R53卒業	学 校 名	R33卒業	R43卒業	R53卒業	学 校 名	R33卒業	R43卒業	R53卒業	学 校 名	R33卒業	R43卒業	R53卒業
国 公 立 大 学				群馬県立県民健康科学大学			1	桜美林大学		8	5	立 教 大 学		2	
新潟大学	37	22	35	群馬県立女子大学	1		2	大妻女子大学	2	2	2	立 命 館 大 学			1
長岡技術科学大学	4		2	高崎経済大学	2	5	6	学習院大学	1		1	立 正 大 学	6	2	
上越教育大学	1	5	3	前橋工科大学		2		神奈川大学	17	26	36	そ の 他	127	207	143
三条市立大学			1	埼玉県立大学	1	1	1	関東学院大学	3	15	11	私立大学合計	402	502	488
新潟県立大学	20	14	12	東京都立大学		1	1	工学院大学	2	1	2	海外の大学			
新潟県立看護大学	4	2	2	神奈川県立保健福祉大学		1	1	國學院大学	1	2	1	Gannon University		1	
長岡造形大学	2		2	横浜市立大学		2	1	国士舘大学		3	4	華南理工大學			1
北海道教育大函館校			1	富山県立大学		1		駒 澤 大 学	10	3	13	合 計	0	1	1
東 北 大 学	1	1		公立小松大学			1	芝浦工業大学		2					
秋 田 大 学	2	2		都留文科大学	1	1	4	順天堂大学	2	5	1				
山 形 大 学	7	7	1	山梨県立大学			1	成 蹊 大 学	5	1	1				
福 島 大 学	2	1	2	長 野 大 学	4	1	3	成 城 大 学	1	1					
筑 波 大 学		1	1	長野県立大学		1		専 修 大 学	13	13	14				
群 馬 大 学	1	1	2	滋賀県立大学			1	大東文化大学	25	21	29				
宇都宮大学		1		奈良県立大学		1		拓 殖 大 学		1	3				
埼玉大学	3	3	3	北九州市立大			1	中 央 大 学	2	2	2				
千葉大学	1	2	1	国公立大学合計	103	92	102	帝 京 大 学	4	4	1				
東京学芸大学	1	1		私 立 大 学				東京電機大学		2	5				
横浜国立大学	2			敬和学園大学		4		東京農業大学	8	4					
富 山 大 学	1	3	4	長 岡 大 学	3	3	4	東京理科大学	1						
金 沢 大 学		1	1	長岡崇徳大学	4	5	3	東 海 大 学	20	10	33				
山 梨 大 学	1			新潟医療福祉大学	16	28	32	東京家政大学	2	1	3				
信 州 大 学	1	3	1	新潟経営大学		1	2	同 志 社 大 学	1	1					
大阪教育大学		2	1	新潟工科大学	4	14	6	東 洋 大 学	26	31	50				
岩手県立大学	1			新潟国際情報大学	12	5	9	獨 協 大 学	11	2					
宮 城 大 学	1		1	新潟産業大学	1		1	日 本 大 学	15	8	10				
秋田県立大学				新潟青陵大学	11	15	11	武蔵野大学	5	3	7				
山形県立米沢栄養大		2	1	新潟薬科大学	11	18	15	文 教 大 学	7	9	7				
山形県立保健医療大		1		開志専門職大学			3	法 政 大 学	7	9	10				
会 津 大 学	1			青山学院大学	4	5		明治学院大学	7	5	5				
福島県立医大			1	亜細亜大学	2	5	2	明 治 大 学	3	6					





創立120周年記念事業環境整備 寄付物品等



○施設整備（学校）

- ・屋外ステージ（中庭）

○物品整備（学校）

- ・楽器（音楽部）
- ・防犯カメラ（生徒玄関）
- ・ピッチングマシン（野球部）
- ・卓球フェンス（卓球部）
- ・スポーツミラー（ダンス部）
- ・ハンドゴール（ハンドボール部）
- ・登山用テント（登山部）

○物品整備（済美会館）

- ・製氷機（屋外部活動）
- ・トレーニング器具（部活動等）
- ・書道床養生材（書道部） など



創立120周年記念事業会計決算見込

収 入	予算額	決算額
同 窓 会 積 立	3,696,475	3,696,475
後 援 会	500,000	500,000
P T A	1,500,000	1,500,000
募 金	20,000,000	16,446,430
預 金 利 息	525	39
合 計	25,697,000	22,142,944

支 出	予算額	決算額
式 典・ 祝 賀 会 費	3,390,000	3,381,000
記 念 誌・ 通 信 費	7,300,000	7,100,000
環 境 整 備 費	14,560,000	11,360,000
振込手数料・事務費	447,000	300,944
合 計	25,697,000	22,142,944

※令和5年6月30日現在中間決算見込となっております。

※のべ1,462名の方から募金いただきました。

ご協力ありがとうございました。



同窓生だより

浅賀 雅巳

(全二九回)

令和4年、長岡大手高校創立120周年式典が地元長岡市で行われた。

在校生によるアトラクションが行われ、特に印象に残ったのは、音楽部の演奏でした。声楽、吹奏楽の両方を活動している部であり、あり得ないと思いましたが、大リーグで活躍している、大谷翔平選手みたいでした。

合唱から始まり、国歌吹奏、校歌の演奏においては、吹奏楽の演奏に合わせ男女それぞれの独唱、その他の曲の演奏では、サクソスのソロなど迫力があり素晴らしい演奏で感動しました。

私が、長岡大手高校に男女共学1期生として入学した頃、吹奏楽同好会として約20名で活動しており、部として認められていませんでした。

私は、その同好会に入会し2年生くらいまで活動し、活動資金がなく楽器不足で、当時の学校長が同好会として認

められないということ解散させられ、悔しい思いをしました。

その後、長岡大手高校を卒業し、卒業してからもいつ吹奏楽部ができるのか、後輩たちがいつの日か部を結成するのだろうと気にかけておりました。

その後、約8年前に同窓会からの資金援助があり楽器を購入することができ、現在の活動に至っているようです。

記念すべき、長岡大手高校創立120周年式典において約50名の大編成の楽団として我々の前で、素晴らしい演奏を披露していただき感無量でした。

音楽部がここまで成長できたのは、同窓会という組織があり、同窓会の支援があったからこそと思います。

よって、同窓会という組織は、在校生のためにも、母校発展においても必要不可欠な組織だと思います。

我々は、長岡大手高校の同窓生として誇りを持ち、愛着心を持って同窓会の活動を続けていくべきと思いました。

木戸 陽介

(全七二回)

教育実習の三週間はあっという間に感じられる日々でした。生徒の皆さんの元気に鼓舞され、先生方にたくさん助けていただきながら、忙しくも充実した日々を過ごさせていただくことができました。すれ違う時の元気の良い挨拶や部活動に全力で打ち込む姿、また体育祭での圧倒的なパワーなど大手高生の輝く姿に元気をもらう事ばかりでした。

高校生活は一瞬で、気を抜くと大切な思い出を積み重ねている感覚を自覚することなく過ぎてしまいます。しかし、高校で過ごした日々は確かな思い出となります。今過ごしている日々を大切にすることにも、生徒の皆さんにはこの一瞬を余すことなく楽しんで欲しいと思います。母校である長岡大手高校の素晴らしいさを改めて感じた三週間でした。ありがとうございます。

石坂 遥花

(全七四回)

長岡大手高校を卒業して一年以上が経ちました。今、皆さんは自分自身を大切に思っているでしょうか？

私は現在看護学校で夢に向かって勉強中です。実習、課題、試験等に追われ余裕がなくなっていく、出来ない自分を毎日責める日々が続いた時期がありました。そんな時、友人から頑張ってる自分を褒めてあげてね。と言葉を掛けてもらいました。その時から私は、日常の中のほんの些細な「出来た!」という部分に焦点を当て、自分の頑張りを認めるようにしてみました。結果、ポジティブな思考に変換できるようになりました。

今、暗かった世界が少しずつ明るく戻りつつあります。様々な環境で、沢山の困難や不安があると思いますが、皆さんが笑顔で毎日過ごせていれば幸いです。

神林 小波

(全七五回)

長岡大手高校を卒業して3ヶ月程が経ちました。高校生活を振り返ると、コロナウイルスの影響で制限があり、私の思い描いていたものとは違いました。授業や部活動、学校行事が思い通りに行えず、悔しい思いをすることもありました。そんな中でも、先生方や仲間にも恵まれ、多くの思い出を作ることができました。今思い返しても幸せだったなと感じます。

現在は、新しい環境にも慣れて、将来に向けて専門的なことを学ぶことができ、充実した日々を送ることができています。

今後も、高校時代に出会った仲間との交流を大切にしていきたいです。マスクを外し、皆で集まれる日が来ることを願っています。

役員

会長 島津 太志 (全29回)
副会長 木村 佑子 (全16回)
〃 小森 幸子 (全21回)
〃 林 良紀 (全32回)
〃 加藤 靖浩 (全34回)
〃 重山 靖浩 (全39回)

同窓職員

監事 高見 美加 (全38回)
〃 小林 薫 (全42回)
事務局 勝田理恵子 (全29回)
〃 今井 洋子 (全41回)
市川 美章 (全36回)
行方 恵子 (全36回)



「東山大遠足」事始め

旧職員 種村盛牟
(1978年～18年間在職)



大手高校の同窓会では高校時代の思い出として必ず

語られる東山大遠足。また、大学入試の面接時「高校時代の一番の思い出は何ですか」の質問で大手生の多くがあげるのが「東山大遠足」であるという。「3年間で100km」のくだりには面接官も大いに興味を示すという。その東山大遠足の始まりに関わったものとして、当時の様子を記しておきたい。

1977(昭和52)年、大手高校では「秋の遠足」を次年度から新たに年間行事に入れることが決定していた。実施時期は、2年生の修学旅行中に1、3年生が行っていた日帰りバス旅行の日あたりを想定していた。

その翌年の1978(昭和53)年4月、私は社会科地理の担当として大手高校に赴任し、登山部の顧問となつてい

た。新たな学校行事「秋の遠足」を実施するにあたり詳細を検討する委員会が発足することになり、各学年、体育科、教務係、登山部から1名ずつ選出の計6名で構成されることになった。私は赴任早々登山部顧問としてこの委員会に参加することになった。

例年「春の遠足」が5月2日か4日に各学年単位で市営スキー場や南蛮山などを行先として実施されていた。これは新しく編成したクラス内の親睦を図ることが主目的で歩く距離も短かった。これに

当時の教員の方々



は全年年が参加する学校行事として体力をつけ、耐久力、持久力を高め、助け合いを通じて協調性を育みクラスのまとまりを強めることを目的としたということになった。

そのころ私は、甲府から上田までの約100kmを走ったり歩いたりする山梨県立甲府一高の「強行遠足」を秋の遠足のモデルとして委員会で話題にしていたが、委員からは「会津の塩沢から長岡まで歩けば、『帰ってきた(河井)継之助』となる」など積極的な意見や「100kmとなると夜どおし歩くことになり女子生徒の多い本校は困難な問題が多い」「支援体制も大規模にならざるを得ない」など不安視する意見も出て議論百出であった。何回か検討を重ねた結果、1,000人を超える生徒が走る・歩くことにな



1983年の東山大遠足

るのでコースは交通量の多い道路を避け、人通りが少なくなる農閑期の農道や野山の山道が適当であろうと計画もまとまりつつあった。そんなある日ふと顔を窓に向けると目に飛び込んできたのは東山の山並みだった。これだ！東山連峰を駆け巡るコースが条件

を満たしている。かくして学校を出発して栖吉から真木集落(今はない)を通り大入峠へ、そして八方台から森立峠、下つて浦瀬から学校に戻るコースができあがった。距離は地形図上で測定し約33kmはある(事前に車で回ってみたが、車が通れない農道や山道があり正確には測っていない)。後に「3年間で100km」と表現するようになった。実施形態はクラス内を5～6人のグループに分けて、参加点に着順点を加えた総合点で競うクラス対抗とした。途中、チェックポイントとして関門を数か所設け、複数の教員や参加できない生徒を補助員として配置し、全員揃ったグループから通過をチェックすることとした。また麻生田では公民館を借用し、応急処置

をとれるよう養護教員を配置し救急用品を準備した。

1978(昭和53)年10月31日火曜日、秋の遠足は「東山大遠足」として記念すべき第1回が実施された。当時の私の日誌にはこう記されている。「絶好の晴天、コースは紅葉に囲まれて素晴らしい。多少のゴタゴタもあったが、何とかうまくいった。トップは午後1時過ぎにゴール、3時少し前がゴールのピーク。1年生がよく頑張った。3年生がダメ。反省会37人が出席」

以降「東山大遠足」は年間行事に組み込まれ、毎年9月下旬から10月上旬に実施されるようになった。2010年11月にはTV番組「ナニコレ珍百景」でも紹介され県内外に知られることにもなった。私の18年に及ぶ在職中には降雨で延期となったり、土砂崩れでコースを短縮して実施したこともあったが「3年間で100km」をスローガンに体育祭、済美祭と並ぶ行事として定着した。今年(2022年)も9月21日に「第44回東山大遠足」として実施されたと聞いている。